



2013年3月期 第1四半期 決算説明会



新型 マツダ CX-5

マツダ株式会社
2012年7月31日

1

本日の説明内容

- 総括
- 2013年3月期 第1四半期実績
- 構造改革プラン アップデート
- まとめ



2



総括

3

総括 (1) - 第1四半期実績

<第1四半期実績>

- 売上高は5,066億円、営業利益は18億円、当期純損失は65億円
- 円高環境で、前第4四半期に引き続き、営業黒字を達成
- 通期利益見通し達成に向けて、順調なスタート
- グローバル販売台数は、対前年7%増の30万台
- 新型CX-5は、グローバルで販売を牽引し、見通しを大きく上回る4万7千台の販売を達成。
米国及び欧州主要国でセグメントトップクラスの残価を獲得
- オーストラリア、タイ、インドネシア、マレーシアで過去最高の販売台数またはシェアを獲得するなど、ASEANを中心に販売好調を継続

4

総括 (2) - 通期見通し

<更なる円高に対応した施策を実施>

- ➔ グローバルで販売好調な新型CX-5の販売モメンタムの継続及び次期Mazda6/アテンザを主要市場に導入
- ➔ フルSKYACTIV搭載車両の新型CX-5、次期Mazda6/アテンザによる収益の大幅改善
- ➔ 変動費、固定費などコスト領域において、更なる改善オポチュニティを追求
- ➔ 構造改革プランの加速
- ➔ 上期及び通期見通しは据え置き

5



2013年3月期 第1四半期実績

6

2013年3月期 財務指標

(億円)	第1四半期		増/(減)	
	2013年3月期	2012年3月期	金額	YOY (%)
売上高	5,066	4,081	985	24
営業利益	18	(231)	249	-
経常利益	(89)	(258)	169	-
税引前利益	(97)	(306)	209	-
当期純利益	(65)	(255)	190	-
売上高営業利益率	0.4 %	(5.7) %	6.1 pts	-

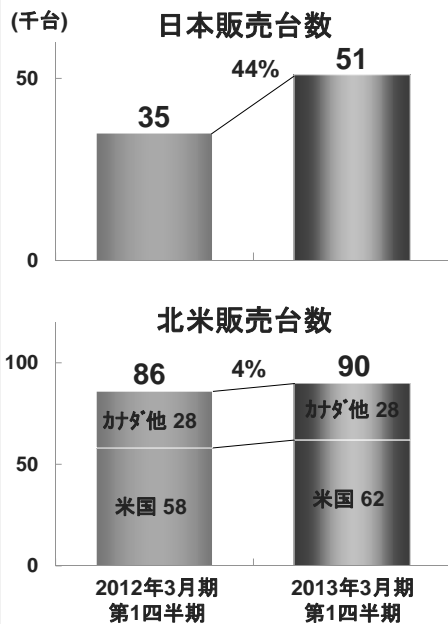
7

主要データ

	第1四半期		増/(減)	
	2013年 3月期	2012年 3月期	台数	YOY (%)
グローバル販売台数 (千台)				
日本	51	35	16	44
北米	90	86	4	4
内 米国	62	58	4	7
欧州	44	44	0	(1)
中国	46	53	(7)	(12)
その他市場	69	63	6	10
合計	300	281	19	7
為替レート				
US\$ / 円	80	82	(2)	
€ / 円	103	117	(14)	

8

マーケットサマリー (1)



<日本>

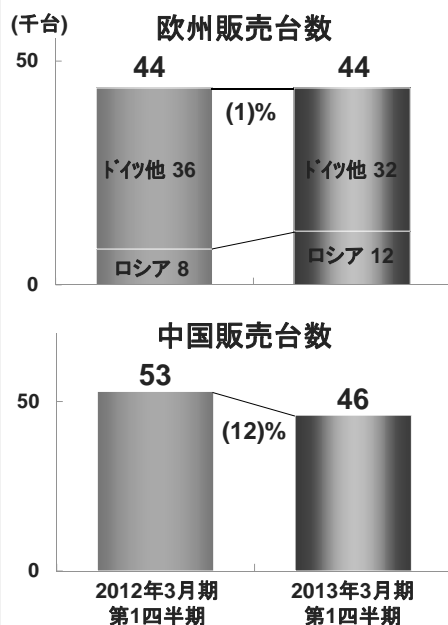
- ➔ 販売台数は、5万1千台。新型CX-5の好調と補助金効果による需要増により、対前年44%増と大幅アップ
- ➔ 新型CX-5の受注は、当初年間販売計画の約2倍の2万6千台。予想を上回るディーゼルエンジン搭載車比率
- ➔ デミオ、アクセラのSKYACTIV搭載車及び補助金対象車を中心に、販売が好調に推移

<北米>

- ➔ 北米全体では対前年4%増の9万台。新型CX-5及びMazda3 SKYACTIV搭載モデルが販売増に大きく貢献
- ➔ 米国: 対前年7%増の6万2千台。インセンティブ抑制などブランド価値向上を継続。新型CX-5の残価はセグメントトップクラス

9

マーケットサマリー (2)



<欧州>

- ➔ 欧州全体ではほぼ前年並みの4万4千台
- ➔ 新型CX-5の販売は好調で、欧州全域合計で約2万台のバックオーダー。欧州主要国での残価はセグメントトップクラスを獲得
- ➔ ロシア: 需要拡大、新型CX-5導入効果により、対前年45%増の1万2千台

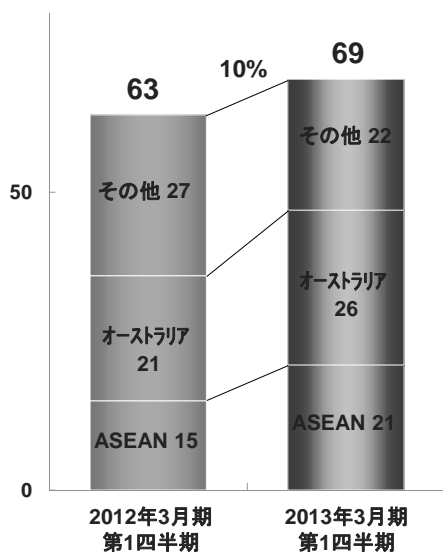
<中国>

- ➔ 競争激化により、対前年12%減の4万6千台
- ➔ Mazda3は、南京工場生産の新型Mazda3導入効果により前年比増を達成
- ➔ 店舗数は、3月末から11店舗拡大し、382店舗

10

マーケットサマリー (3)

(千台) その他市場販売台数



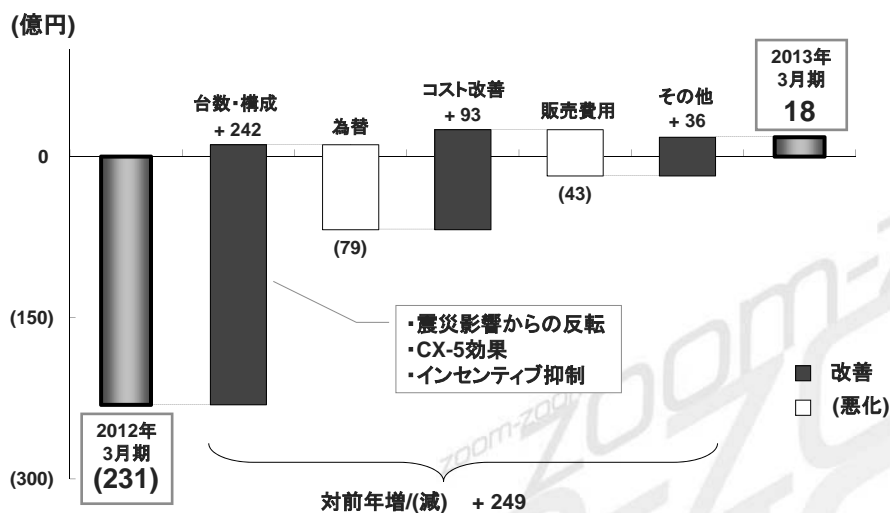
<その他市場>

- ➔ その他市場全体では、対前年10%増の6万9千台
- ➔ オーストラリア: 新型CX-5や新型BT-50の好調により、過去最高の2万6千台(前年比23%増)を達成。シェアも0.5ポイント拡大し、過去最高となる8.9%を獲得
- ➔ ASEAN: 対前年41%増の2万1千台と販売好調を継続。Mazda2、新型BT-50が好調のタイや、インドネシア、マレーシアで過去最高の販売台数を達成

11

営業利益変動

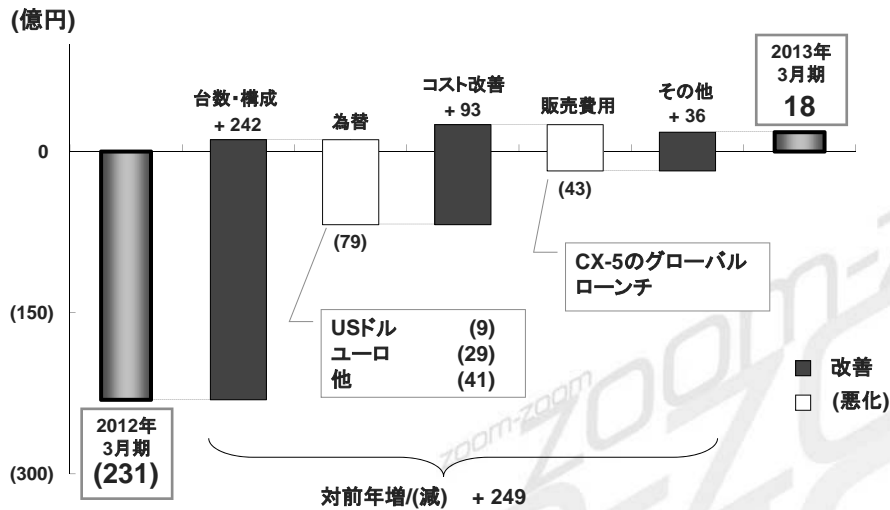
2013年3月期 第1四半期 対前年比較



12

営業利益変動

2013年3月期 第1四半期 対前年比較

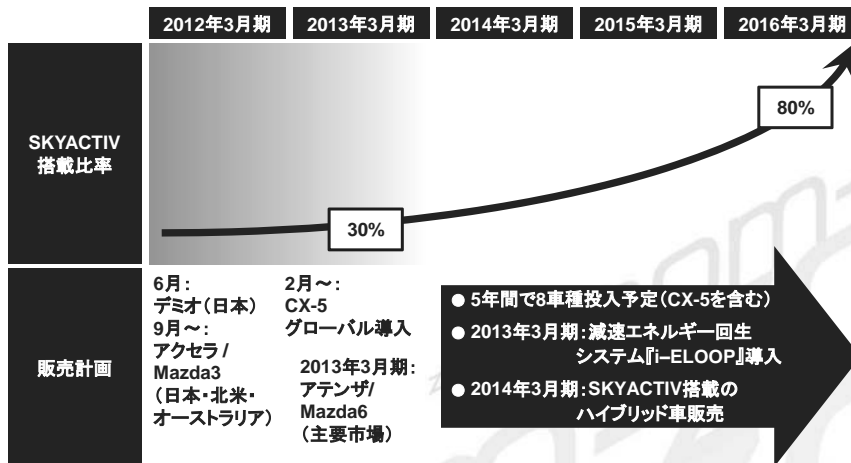


13

構造改革プラン アップデート (1)

<SKYACTIVによるビジネス革新>

- 新型CX-5は、①SKYACTIV技術と魂動デザインによる大幅な商品力アップ ②商品力を根子にした売り方革新 ③モノ造り革新に基づくコスト改善を実現
- 次期Mazda6/アテンザの導入に向けての活動を加速
- SKYACTIV搭載車販売比率は、今期30%の見込み



14

構造改革プラン アップデート (2)

＜モノ造り革新による更なるコスト改善の加速＞

➔ SKYACTIV-G/Dの生産設備投資効率を60%から70%に上方修正

		コスト改善/効率化
開発効率化	→	30%以上
生産設備投資	SKYACTIV-G/D	70%以上
	車両	20%以上
コスト改善	車両(除く、追加装備)	20%以上→30%(目標)
	SKYACTIV-D	現行よりも改善
	SKYACTIV-G	現行直噴よりも改善
	SKYACTIV-DRIVE	現行レベル

15

構造改革プラン アップデート (3)

➔ 新興国事業強化とグローバル生産体制の再構築

- マレーシアでベルマツ社と合弁生産・販売会社の設立に向けた協議を開始
- AATでは、ピックアップトラックの生産能力増強を第1四半期に実施。
今後、乗用車も含めた更なる生産能力拡大を検討
- 2014年3月期第4四半期のメキシコ新工場稼働、今秋のロシアでの生産開始に向けて順調に進展

➔ 事業再構築及び自動車事業への集中

- 欧州に続き、米国子会社の効率化を実施
- トーヨーエイテック株式の70% 及び固定資産を売却

➔ フィアット社との協業プログラムを公表など、グローバルアライアンスの推進も加速

16

まとめ

<第1四半期実績>

- ➔ 営業利益は、円高環境の中、前第4四半期に引き続き、18億円の黒字を達成
- ➔ 米国及び欧州主要国での残価がセグメントトップクラスとなるなど、グローバルで高い評価を獲得した新型CX-5が販売を牽引し、グローバル販売台数は対前年7%増の30万台。
- ➔ オーストラリア、タイ、インドネシア、マレーシアで過去最高の販売台数またはシェアを獲得するなど、ASEANを中心に販売好調を継続

<通期見通し>

- ➔ 通期利益見通し達成に向けて、順調なスタート
- ➔ 上期及び通期見通しは据え置き

17

最後に

<更なる円高に対応した施策を実施>

- ➔ グローバルで販売好調な新型CX-5の販売モメンタムの継続
- ➔ 次期Mazda6の欧州向け生産開始/導入を前倒し実施。年内に欧州、国内、来年初には他主要市場へ導入
- ➔ 新型CX-5、次期Mazda6/アテンザによる収益の大幅改善
 - グローバルでの販売拡大と生産台数の確保
(新型CX-5の生産能力を年16万台から、8月より20万台、来年3月より24万台に増強)
 - 仕向け地ミックス、車種ミックスの改善
- ➔ 変動費、固定費などコスト領域において、更なる改善オポチュニティを追求

<構造改革プランの加速>

- ➔ SKYACTIV搭載車の販売拡大と生産能力の確保
- ➔ SKYACTIV搭載車の商品力を根子にした、売り方革新の推進
- ➔ ASEANでの生産拡大など、新興国事業の強化
- ➔ グローバルアライアンスの推進を加速

18



mazda

添付

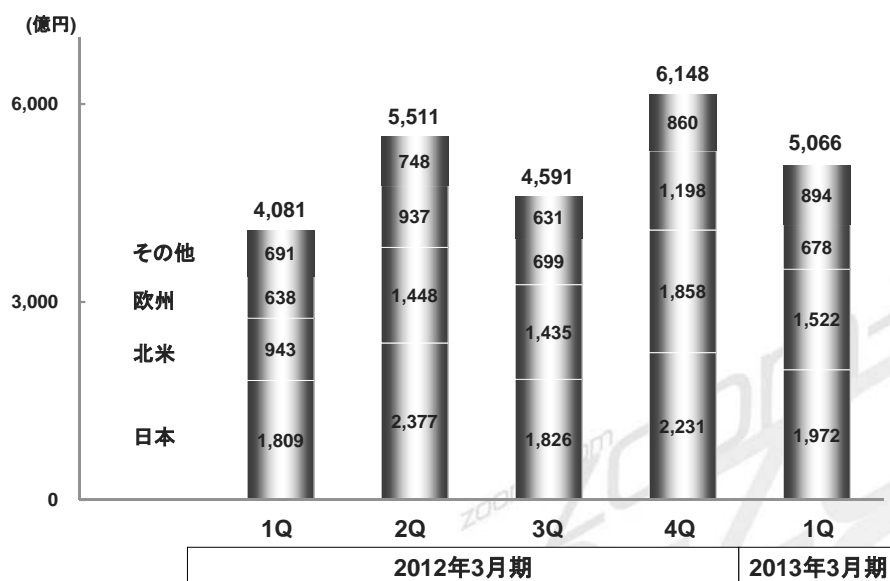
キャッシュフロー及び純有利子負債

(億円)	第1四半期		改善/ (悪化)
	2013年 3月期	2012年 3月期	
フリーキャッシュフロー	(203)	(461)	-
現金及び現金同等物	4,394	3,142	1,252
純有利子負債	3,265	4,137	872
純有利子負債 自己資本比率	69 / 58* %	101 %	32 / 43* pts
自己資本比率	25 / 27* %	23 %	2 / 4* pts

* 劣後特約付ローンの資本性考慮後

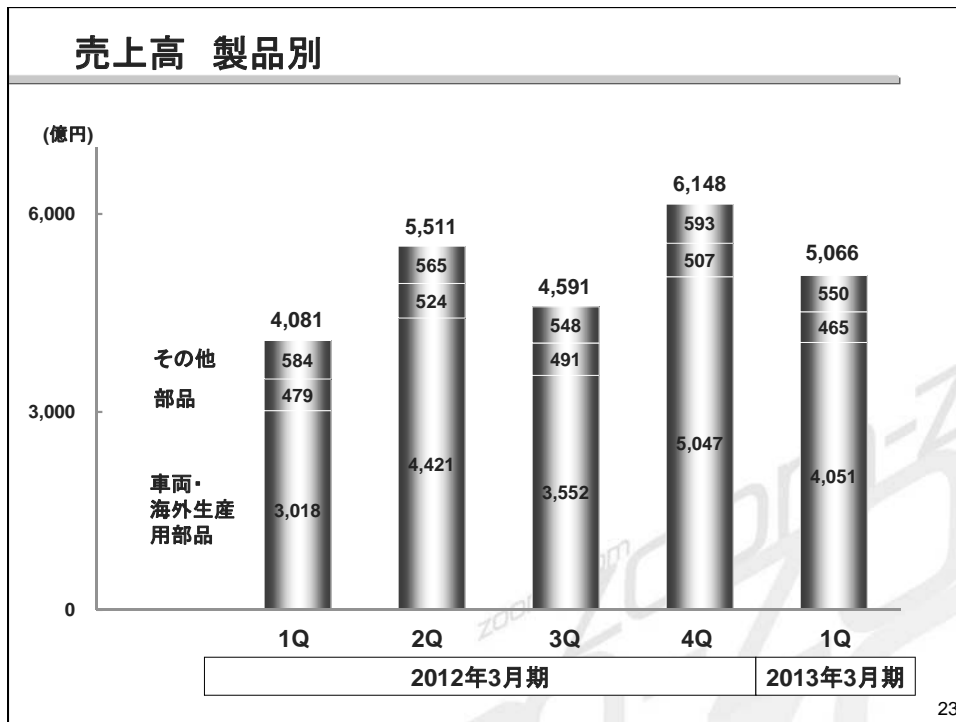
21

売上高 所在地別



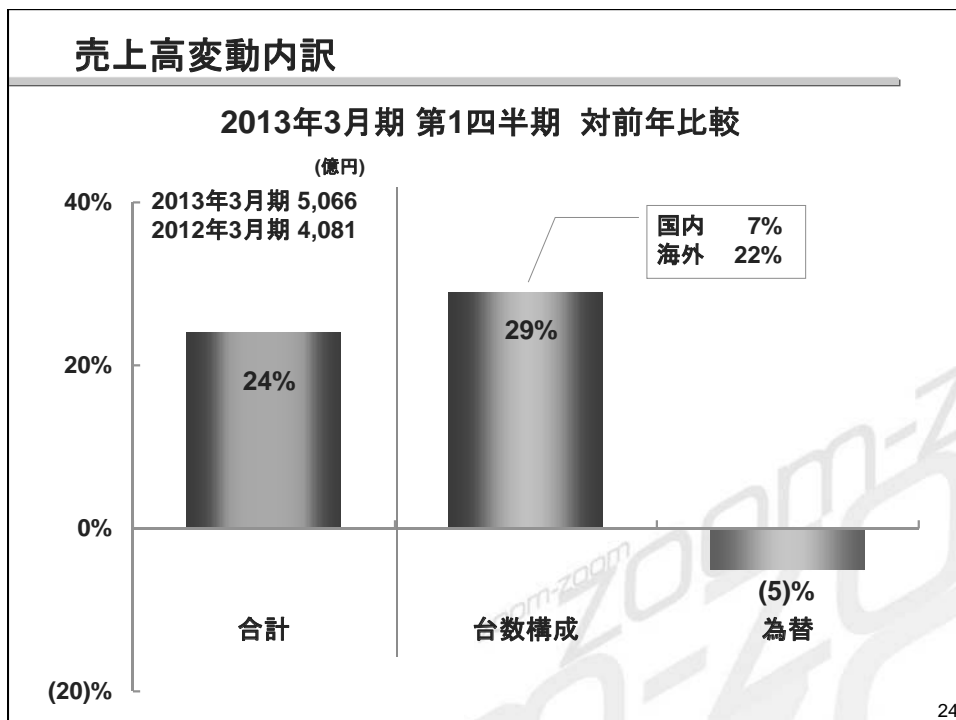
22

売上高 製品別



23

売上高変動内訳



24

主要データ

	第1四半期		増/(減)	
	2013年 3月期	2012年 3月期	台数	YOY(%)
連結出荷台数 (千台)				
日本	54	43	11	26
北米	89	59	30	52
欧州	32	27	5	16
中国	2	3	(1)	(16)
その他市場	70	54	16	28
合計	247	186	61	33

25

2013年3月期 財務指標

(億円)	2013年3月期			2012年 3月期	通期
	上期	下期	通期	通期	増/(減)
売上高	10,400	11,600	22,000	20,331	1,669
営業利益	100	200	300	(387)	687
経常利益	(20)	170	150	(368)	518
税引前利益	20	150	170	(553)	723
当期純利益	50	50	100	(1,077)	1,177
売上高営業利益率	1.0 %	1.7 %	1.4 %	(1.9) %	3.3 pts

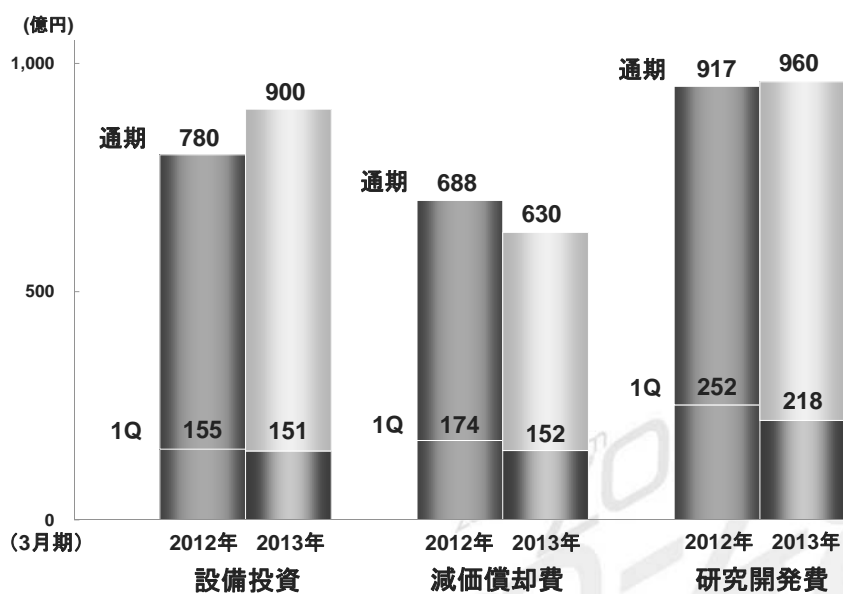
26

主要データ

	2013年3月期			対前年 増/(減)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
グローバル販売台数 (千台)						
日本	117	108	225	22	(3)	19
北米	193	197	390	11	7	18
欧州	95	90	185	4	(2)	2
中国	122	133	255	15	17	32
その他市場	143	142	285	14	8	22
合計	670	670	1,340	66	27	93
連結出荷台数 (千台)						
日本	123	114	237	14	(3)	11
北米	176	216	392	24	6	30
欧州	72	99	171	(2)	2	0
中国	7	11	18	(1)	9	8
その他市場	139	133	272	12	13	25
合計	517	573	1,090	47	27	74
為替レート						
US\$ / 円	80	80	80	0	2	1
€ / 円	105	105	105	(9)	1	(4)

27

主要データ



28

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。